

土佐希望の家通信

<発行>重症心身障害児(者)施設 土佐希望の家 高知県南国市小籠107 TEL 088(863)2131/FAX 088(863)2133/
 http://www.tosakibou.jp Email:tosakibo@i-kochi.or.jp 発行責任者 門田 正坦 編集責任者 中屋 淳

HAPPY LIFE
 家族の窓
 No.19
 大黒直人様
 3病棟あざみ



昭和四十五年二月三日に生まれ、3か月で脳性麻痺と診断されました。2歳から母子入園で訓練を始め、5歳で子鹿園に入園して、小中と子鹿園分校に通学しました。中学3年の夏休みには、松山の施設が空いているので入園したらと言われ、自分達で施設めぐりをしました。それから土佐希望の家を見学しましたが、本人がすっかり希望の家に気に入りました。今は亡き父親も希望の家の雰囲気が入りに入り、直人さんも看護婦さんのピンクの服が気に入ったようです。昭和五十八年に土佐希望の家に入園。それから平成十三年六月にはお父さんが亡くなりましたが、十二年経った今では元気になって、頑張っています。

大黒 富子

希望の家ロードレース大会
 での直人さんの勇姿



私の仕事 (17)



理学療法士 山崎万里

『今、伝えておきたいこと』

私は希望の家で理学療法士として三十二年間働いてきました。近く定年退職を迎えますが、就職した当時は、リハ職員は私1人だったことを考えると隔世の感があります。

今年4月、PT、OT室が増築され、また念願のリハスタッフの控室もできチーム力がアップしています。今リハ科には若い熱心なスタッフが揃っており、今後とも利用者の生命や生活を、他職種の方々と連携してしっかり支えてくれると安心していきます。

私は利用者の笑顔や家族の方々、仕事仲間また希望の家の労働条件の良さに助けられて長く働くことができました。過去の事を思い返した時、今皆さんに伝えておかなければと思う事があります。

創立時の山崎元理事長「夫妻のご苦労はみなさん周知のことですが、その後も、障害児者や家族の要求を、粘り強く運動にして一つ一つ実現にこぎつけ今の希望の家があるということです。通園や在宅訪問などは制度として認められる前から山崎ご夫妻が実践されており、その後通園事業は本格的に展開されてきました。また私も職員として多少関わった事に高等部設置運動、分校への通学生の受け入れ問題、分校の校舎建設運動などがあります。

卒業式

若草養護学校土佐希望の家分校に通学されている利用者の皆さんが、「卒業」入学されました。おめでとうございました。

- 【中学部卒業】 中村達也様 (2病棟)
- 【高等部卒業】 岡林秀宜様 (2病棟)
- 森本英子様 (2病棟)
- 佐藤 誠様 (3病棟)



入学式

【高等部入学】
 西原由佳様 (2病棟)



高等部に入学しました！
 お母さんと元気に記念撮影



保護者が中心になりその都度請願署名を集め、県議会に何度も足を運んで請願を実現させてきました。長年の運動が実り校舎が建ったのは2000年でしたが、感無量でした。今、分校には地域からの通学生が増えており嬉しい限りですが、希望の家の運動がなければ、現在の分校はなかったと言っても過言ではありません。

障害児者や家族とそれを支える多くの人の協力で今の希望の家が出来あがってきたという事を、皆さんの心の隅にとめておいて欲しいと思います。そして希望の家が、障害児者とその家族、そして職員も含めて人を大事にする施設としてあり続ける事を願っています。

新人職員まつり



今年度の療育、リハ新人職員が各病棟を回って「新人職員まつり」を披露してくれました！

「」厚意

【寄付金・寄付物品】

- 小林豊様 北村忠司様 長田修身様 高知ライオンズクラブ様 池尻浩一様 安藝菖子様 中澤智様 高知キリスト教会様 桂民謡会様 山本茂登子様 後免地区社会福祉協議会様 高知市環境政策課内高知クリーン推進会事務局様 明治乳業南国販売店様 西岡勉様 谷脇充代様 日浦忠和様 市原真理様

ありがとうございました。
 今後ともよろしく願います

☆ 編集後記 ☆

リハ室が完成して、餅投げがありました。最近は見なくなりましたね。たくさん集まって、たいへん盛り上がりがありました。

リハ室・増改築完成祝い



リハ室の増改築工事が完成したので、お祝いの餅投げをしました。土佐希望の家後援会の皆さん、ありがとうございました。

ロードレース大会



第5回希望の家ロードレース大会が開催されました。今年もたくさんの方が参加されて、楽しい大会になりました。

眼科検診



高知大学医学部眼科学講座教授 福島敦樹先生が来てくださいました。年2回程度検診に来ていただく予定です。よろしくお願いいたします。

土佐希望の家周辺の歴史(6)

施設長 長 博雪

土佐国分寺

今年の冬は寒かったですね。2病棟のベランダから望む山々もうつすらと雪化粧でした。3月、4月とだんだん暖かくなって、自転車で郊外のサイクリングを楽しめる季節になってきました。今回は土佐希望の家の北東方向にある土佐国分寺のお話です。現在は、四国八十八か所第二十九番札所として、参拝の「お遍路さん」で賑わっていますね。

天平十三年(西暦七四一年)といわれています。聖武天皇は勅願を出され、全国に国分寺、国分尼寺の造立がすすめられました。この土佐の地にも土佐国分寺が創立されています(写真1)。正確な建立の年代は判りませんが、現在の国分寺の境内には当時の塔の礎石が残っていますし、当時の築地のあとと考えられる土塁が境内の東側と南側に少し残っていて古代をしのぶことができます。春先には土塁の上に植えられた椿の花が美しい(写真2)。

平安時代の前期と考えられる梵鐘が残されていることからこの頃の創建とも言われています。紀貫之が著した「土佐日記」にも承平四年十二月二十七日、この時代は旧暦ですので、現在の新暦に直すと西暦九三五年二月八日、土佐での任務を終えて京の都へ戻る旅の無事を祈って、交流のあった当時の土佐国分寺の住職が挨拶に来られたとの記載があります。

平成24年度 事業計画(重点目標)

法人全体

- ① 新体系事業の円滑な実施に努める。
- ② 安定的な医師の体制をつくるように努める。
- ③ 大規模地震を想定した防災対策を進める。
- ④ 敷地内禁煙、新しい制服の着用など、改正後の就業規則等を徹底する。
- ⑤ 施設の狭隘化の解消に向けて検討を進める。
- ⑥ 上司と部下の役割を明確にし、報告・連絡・相談の徹底を図る。
- ⑦ 職員ひとり一人が、理念の実現に向けて、私たちの行動指針を実践するよう徹底する。
- ⑧ 研修に積極的に取り組み、各専門領域における技術や知識の向上を図る。
- ⑨ 与薬ミス、骨折事故の減少と、院内感染の防止に努める。

重症心身障害児・者施設

○療養介護事業所

≪事務部≫

- ① 新体系への移行による新たな事業の請求業務及び、利用契約の締結等の事務を確実に行う。
- ② 大規模地震に備え防災対策を進める。
- ③ 施設の狭隘化の解消に向けて検討する。
- ④ 一人ひとりが担当業務の専門性を高め、責任を持って業務に取り組み、抜かりなく業務を遂行する。
- ⑤ 報・連・相の徹底を図る。
- ⑥ 業務の効率化、迅速化、適正化に努める。
- ⑦ 新社会福祉法人会計への平成25年度移行に向けて準備を進める。

≪医務部≫

リハビリ

- ① 重症児(者)リハビリテーションの専門知識の向上に努める。
- ② PT、OT、STの連携を密にし、サービスの充実を図る。
- ③ 他職種と連携し、増収を目指す。

検査

- ① 精度管理に重点を置き、より質の高い検査値が報告できる検査室を目指す。
- ② 専門知識と技術習得を志す。

薬剤

- ① 正確な調剤を目指すとともに、各部門との連携を図る。
- ② 薬価改正に伴い、採用医薬品の見直しや、後発医薬品の採用の検討、及び情報提供をする。

給食

- ① 利用者の嚥下状態の変化にあわせた、安全な食形態を目指す。
- ② 栄養管理の充実を図る。
- ③ 業務について、手順、効率、衛生などの面から見直しを図る。

≪看護部≫

共通

- ① 異常の早期発見や重症化に対応できる看護を目指す。
- ② スキルアップ学習や研修に、積極的に取り組む。
- ③ 骨折予防策に取り組む。

1病棟

- ① 専門知識・技術の向上のため、施設内外研修への参加を積極的に行う。
- ② 加齢に伴う機能低下や疾患の早期発見ができ、迅速に対応できる看護を目指す。
- ③ 感染症の予防と拡大防止に努める

2病棟

- ① 利用者本意で看護の在り方、勤務の在り方を点検し、改善する。
- ② 異常の早期発見と、その対処についての技術や知識の向上に努める。
- ③ 個別支援計画の円滑な実施を図る。
- ④ 利用者個々の個性に沿った看護を行う。

3病棟

- ① 高齢化に伴ったケアプランの作成及び実践に取り組む。
- ② 浴室の天井リフトを使用した、安全で快適な入浴を目指す。

≪療育部≫

共通

- ① 笑顔ユニフォームに！仕事をする。
- ② チームワークを良くする。
- ③ 利用者の健康、安全を守り、事故・誤薬防止に努める。
- ④ 個別支援計画の作成、実施の充実を図る。
- ⑤ 生活支援基準をもとに、より質の高いサービスとやさしい介護をめざす。
- ⑥ 利用者の自己選択、自己決定を大切にした支援を行う。
- ⑦ 福祉機器・用具の充実を図る。
- ⑧ 人材育成に努める。

1病棟

- ① 個別支援計画を円滑に実施する。
- ② 生活支援基準を浸透させる。
- ③ 介護基本技術を習得し、実践する。

2病棟

- ① 個別支援計画の目標に向けて、具体的支援を実行する。
- ② 生活支援基準に基づき、「注意一秒、けが一生」を胸に、丁寧な介護をする。
- ③ 福祉機器・用具を活用する。
- ④ 関わりを多く持ち、利用者の笑顔をつくる。
- ⑤ 2病棟療育理念を実践する。

「花を支える枝、枝を支える幹、幹を支える根、根は見えないんだなあ」相田みつおさんの言葉を理念に、「花」は笑顔、「枝」は関わり、「幹」はチームワーク、「根」は思い、として実践し、より良いサービスを実践する。

3病棟(東)

- ① 個別支援計画を充実させ、利用者の個性を尊重した援助を行う。
- ② 生活支援基準をもとに利用者への対応を見直す。
- ③ 集団取組と個別取組を計画的に行う。
- ④ 3病棟東西職員の交流を活発化し、夜勤回数の平均化と3病棟東西の統一に向けて検討する。

3病棟(西)

- ① 利用者ニーズの把握を居室グループで行い、個別支援計画を作成し目標達成を目指す。
- ② 生活支援基準の会では、利用者のライフステージについて考え、個別支援計画に活かす。
- ③ 地域との交流や外出の機会をより多くして、豊かな生活が送れるよう努める。
- ④ 3病棟東西職員の交流を活発化し、夜勤回数の平均化と3病棟東西の統一に向けて検討する。

○医療型障害児入所施設

療養介護事業所と共通

○短期入所事業

関係部署との連携を図り、利用希望には可能な限り応えていけるよう取り組む。

通園事業所

○多機能型児童発達支援事業
新規事業であるため、円滑な実施に向けて取り組む。

○多機能型放課後等デイサービス事業
新規事業であるため、円滑な実施に向けて取り組む。

○多機能型生活介護事業

- ① 食事の姿勢・介助方法、車椅子の移乗、入浴・排泄介助等、利用者の基本的介護の在り方を見直す。
- ② 個別取組、外出、入浴などの日中活動を充実する。
- ③ 他施設、訪問看護事業所、ヘルパーステーションなどのスタッフを交えたケース会の実施に向けて取り組む。
- ④ リフト等の福祉機器や介護用具を導入し、活用する。

相談支援事業所

○相談支援受託事業所
市町村との連携を密にし、相談支援件数の増に努める。

○指定特定相談支援事業所
新規事業であるため、円滑な実施に向けて取り組む。

○障害児相談支援事業所

新規事業であるため、円滑な実施に向けて取り組む。



写真1 史跡 土佐国分寺



写真2



写真3

ちよひつう話

こすもす病棟には個性豊かな人たちがたくさんいます。その中でバスケットボールが大好きでよくそれを持って遊んでいる入元元気さん。

元気さんは几帳面な面を多く持っています。ホールで遊んだ後、そのボールは置きっぱなしにはしません。ボールを持ったまま膝移動で自分の部屋まできちんと持ち帰ります。又、自分の部屋は勿論、他の部屋の戸が開きっぱなしになっていると、通りがけに閉めてくれるし、トイレから出る時には電気を消すこともあります。私が見かけたのは日中でしたが、ひょっともったいななあと思ったのかも知れません。夜は部屋に入ると自分で収納棚を開け、布団を取り出し消灯もされるこの事です。

私が一番感動したのは、ある日のホールでの出来事、私の脱いだスリッパを利用者の誰かがついで遊び、その後ポーンと投げ飛ばしたらしく、詰所前の廊下に散らばっていました。



1病棟療育指導補佐 山崎美代子

そこへ通りかかった元気さん、勿論バスケットボールを両手で持っていました。ボールを床に着きながら膝で移動している途中、その片方のスリッパに手が伸びました。

あれあれ、又、投げられるかな？と思うたけれど、次の行動にびっくり！何と彼はひっくり返っていたのを上向きに置き、又ちよと移動し、もう片方のスリッパに手を伸ばしたので。そして二つのスリッパをきちんと向きまで揃えて置き、何事もなかったかのような顔でホールの定位置までやってきました。私はとても感動し、「入元さん、ありがとうね」と言っそのスリッパを履いたことでした。



桂民謡会様から寄付をいただきました。どうもありがとうございました。

